学校番号	１１７

平成 31 年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校世界史Ｂ　（山川出版）						
副教材等	アカデミア世界史　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶことをとおして、現在の世界におけるさまざま出来事がなぜ起こってきたのかを考えてきましょう。
・身近な事柄や映画などをとおして学びを深めていきましょう。

2　学習の到達目標

・世界の諸地域に関する興味・関心を高め、意欲的に学習する態度を育成する。
・世界史の大きな枠組みと流れを、日本を含む諸地域世界の歴史と関連づけながら理解させる。
・歴史的思考力を育て、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と問題意識を高め、国際社会に主体的に生き、平和で豊かな世界の形成に関わろうとしている。	歴史的事象から課題を見出し、世界の形成の歴史的過程、地域的特色を世界的視野に立って考察し、国際社会の変化を踏まえ判断し、その過程や結果を表現している。	諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して効果的に活用している。	世界の形成の歴史的過程について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・提出物での評価 ・受講状況観察	・定期考査 ・提出物 ・受講状況観察	・定期考査 ・提出物	・定期考査 ・提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	オリエントと地中海世界／アジア・アメリカの古代文明	・先史の世界 ・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界 ・インドの古代文明 ・東南アジアの諸文明	 ○ ○ ○ 	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a: 先史時代から古代文明成立期の社会の変化や人々の生活、文明の形成過程に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b: 先史時代から古代文明成立期の社会の変化や人々の生活、文明の形成過程から課題を見いだし、多面的・多角的に考察している。 c: 先史時代から古代文明成立期の遺物などの諸資料を活用することを通して、社会の変化や文明の形成過程について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 d: 先史時代から古代文明成立期の社会の変化や人々の生活、文明の形成過程についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・受講状況観察
2	アジア・アメリカの古代文明／内陸アジア世界・東アジア世界の形成／内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明 ・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:アジア諸地域に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: アジア諸地域の形成と展開から課題を見いだし、他の地域と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: アジア諸地域の形成と展開に関する文献、絵画、建築などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:アジア諸地域の形成と展開ついての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・受講状況観察

	イスラーム世界の形成と発展／ヨーロッパ世界の形成と発展	・イスラーム帝国の成立 ・イスラーム世界の発展 ・イスラーム化の進展 ・イスラーム文明の発展 ・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:イスラーム・ヨーロッパの各世界の社会の変化や人々の生活、文化の特色に対する関心と課題意識を高め、追究している。 b:イスラーム・ヨーロッパの各世界の変化や人々の生活、文化に課題を見いだし、各世界相互の交流などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 c:イスラーム・ヨーロッパの各世界の変化や人々の生活、文化に関する諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:イスラーム・ヨーロッパの各世界の変化や人々の生活、文化についての基本的な事柄を、各世界相互の交流などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・受講状況観察
3	近世ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・欧州主権国家体制の形成	○ ○ ○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a: 大航海時代やルネサンスなどを通じてヨーロッパ世界がその後の拡大に向けて大きく変化したことについて関心を持ち、意欲的に学習しようとしている。 b: 大航海時代やルネサンスなどを通じてヨーロッパ世界がその後の拡大に向けて大きく変化したことについて多面的・多角的に考察し、その内容を適切に表現している。 c:大航海時代やルネサンスなどを通じてヨーロッパ世界がその後の拡大に向けて大きく変化したことについて諸資料を参照し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:大航海時代やルネサンスなどを通じてヨーロッパ世界がその後の拡大に向けて大きく変化したことについて基本的な事項を理解し、身につけている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・受講状況観察

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について〇を付けている。